

1 製品・規格

Q-12 フラットデッキ端部に設けられたエンドクローズの厚さが床スラブの断面欠損の原因にならないか？

A

フラットデッキの両端で、(補強用)リブを閉塞加工したものをエンドクローズ(エンクロと称す)といいます。エンクロされた箇所では部分的に数枚の板が重なって、5～10mm程度の凸部が形成されます。そのため局所的に所定の断面が確保できない部分が生じます。

しかしながら、その部分は中空となるわけではなく、鋼材が充填された状態となっており、強度上はある程度応力を負担することが期待できます。ただ、床スラブ厚は強度上だけではなく、振動、遮音性などについて検討した上で決定されています。したがって、エンクロによる断面欠損については、設計の段階から後述のフラットデッキ固有の特徴を考慮して、床スラブ厚・鉄筋量を決めることが肝要です。これについては設計者と協議の上、次のような対策を講じて下さい。

- 1) 床スラブ端部の上端に補強筋を配筋する。
- 2) RC造にあっては、床スラブ用の型枠の取付位置を5～10mm下げる。
- 3) S造にあっては、床スラブ厚を5～10mm増打ちをする。

なお、増打ちする場合には、床スラブの自重が増加するため、鉄筋量に変更がないかどうか設計者に確認する必要があります。

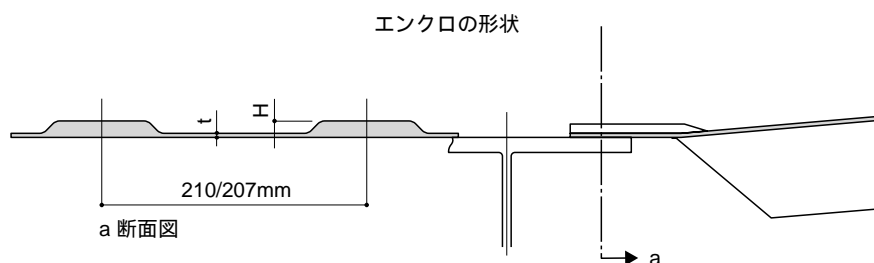


図 - 1 エンクロ

記号 H : エンクロ高さ
t : フラットデッキの板厚
210/207mm : エンクロ間隔(リブピッチ)